

IMS マスト重量／重心位置計測

準備チェックリスト

日本ORC協会 計測事務局

このチェックリストは、マスト重量と重心位置の計測（カーボンマストは必須，他はオプション）のために、オーナーが事前にマストを計測状態に準備するために作成されています。詳細については、IMS 725を参照して下さい。また、不明な点についてはORC計測員に問い合わせ下さい。

計測は、二つの台秤を使用して、合計重量からマスト重量，重量の比率から重心位置を実測する場合と、1つの吊り秤で重量，均衡した吊り下げ位置から重心位置を実測する場合があります。このときブームの重量計測と他のマスト関係の計測事項も実施します。

マストとブームは、次の各項目の状態でなければなりません。OKであれば、オーナーイニシャル欄にイニシャルを記入し、すべてをチェックして、計測時にORC計測員に提出して下さい。

1. マストは、出来るだけ水平に置いておくこと。
イニシャル オーナー：_____ メジャー：_____
2. 乾燥状態で、レースに使用する下記の部品だけを取り付けてあること。
スタンディングリギン，リギン用ターンバックル（レース中調整不可のもの），ランニングバックステイ，スプレッダー，ジャンパー，ライト，アンテナ，配線，ラフグループ装置（ヘッドフォイル），恒久的に付けられた付属品（クリート，スピノール，etc）
イニシャル オーナー：_____ メジャー：_____
3. 次のものは取り外してあること。
ランニングリギン（ハリヤード等），チェックステイ，ブロックやテークル，ブームバンク，リーフ索具，リギン調節装置（油圧またはその他のもの）
注：唯一ランニングリギンの再リードの目的のみで、直径4mm以下で重さ15g/m以下のメッセンジャーを、ランニングリギンのマスト内を通る部分として使用できます。
イニシャル オーナー：_____ メジャー：_____
4. すべての配線，メッセンジャー，スタンディングリギンは、それらの適正な位置に取り付けてあり、弛みは下方に引っ張られ、マストに沿ってランヤードやテープのような軽い材質のものでしっかりと止められていること。
イニシャル オーナー：_____ メジャー：_____
5. スタンディングリギンやランニングバックステイなどの余ったテイル（下端）はマスト下端で自由に吊しておくこと。（地面にさわってはならない。）
イニシャル オーナー：_____ メジャー：_____
6. ヘッドボード，ラフスライダー，スピネーカーポールカーなどは、移動範囲の最も低い位置にすること。イニシャル オーナー：_____ メジャー：_____

実施日：_____年_____月_____日

艇名：_____ セール番号：_____

オーナー署名：_____ メジャー署名：_____